

Vol. 7 H24.7.24

工事専用軌道で落石発生!!

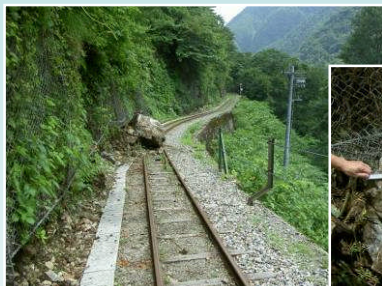
TATEYAMA SABO



7月23日(月)13:00頃、立山砂防工事専用軌道のワサビ谷上流(2.7km付近)で大きな落石により軌道がふさがれているのを走行中のトロッコが発見しました。石の大きさは幅1.3m×長さ1.4m×高さ1.2m程度で、軌条(レール)と枕木が損傷し軌道が通行不能となりました。

早急に落石除去と軌条(10m)及び枕木(4本)の交換作業が行われ、当日夕方に復旧作業は完了しましたが、毎日軌道で行っている水谷への食料品や生活物資を運搬する定期便の他4本が運休となりました。

当日の気象状況…天候:晴、風速:1.1m/s(平均風速、千寿ヶ原13:00現在)、雨量:7月22日19:00から降雨なし



落石発生状況(ワサビ谷付近)



長さは1.4mもありました(ワサビ谷付近)



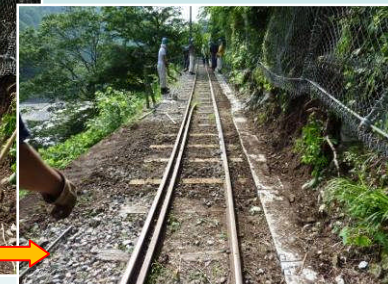
落石除去作業(ワサビ谷付近)



軌条(レール)の損傷状況
(ワサビ谷付近)



枕木交換状況
(ワサビ谷付近)



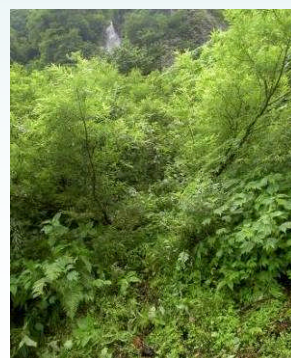
復旧作業完了(ワサビ谷付近)

23日は、朝の定期巡視(軌道が運行する前の安全巡視)でも七郎トンネル上流(9.3km付近)で落石のあった形跡があり、軌条と枕木が損傷していました。軌条(10m)と枕木(3本)の交換作業を午前中に完了させ、開通したばかりでした。

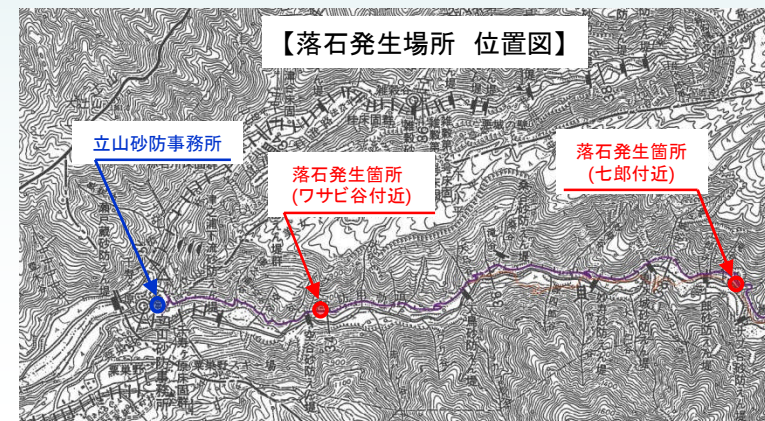
(軌条を損傷させた落石は軌道に落下後さらに下流側に転落したとみられ、付近には中・小の落石が数個残っていました。)



軌条の損傷状況(七郎付近)



軌道上部斜面の状況(七郎付近)
(大きな落石があったと思われる)



【落石発生場所 位置図】